

## ■欧州：ポーランドがロシアとの長期ガス供給契約の更新を見送り

2016年5月31日の報道によると、ポーランドの国営ガス会社である PGNiG は 2022 年に期限が切れるロシアとのガス供給契約の更新を見送る方針である。今後は短期契約を検討するとともに、北海沿岸に LNG ターミナルを建設し、ロシアへの依存度を減らすことを検討していく。ポーランド側は引き続き価格交渉に応じる可能性があるとする一方、ロシアのガスプロムは価格競争には走らないとし、また、全世界に市場を持つ米国産 LNG がヨーロッパに入ってくる可能性やその影響は小さいとの見解を示している。一方、ギリシャを訪問したロシアのプーチン大統領は、チプラス首相との会談においてエネルギー分野を含む様々な経済協力に関する覚書を締結している。この背景にはロシア産天然ガスをギリシャ経由で欧州に輸出するためのパイプライン計画を確実なものとする狙いがあると言われている。